

2019年12月のエリ漁獲アユの地点別成長比較

久米弘人

1. 目的

2018年12月のエリ漁獲量には地域差がみられ、漁獲量が多い地域はアユの成長がよかった。一方、2019年12月のエリ漁獲量には地域差はみられなかった。そこで、成長の状況を把握するため、2019年12月のエリ漁獲アユの耳石解析から地点ごとの成長を比較した。

2. 方法

2019年12月2日に守山、中主、両浜、今津、百瀬、西浅井の各漁協においてエリで漁獲されたアユから、1漁協あたり32尾ずつ抽出し、体長を測定後、耳石を摘出した。耳石解析にはラトックシステムエンジニアリング社製の耳石日輪解析システムを用いて、日齢査定を行うとともに、測定した日周輪間隔と耳石径から Biological intercept 法により体長を逆算推定した。個体ごとに日毎の体長差から成長速度を求め、ふ化時期別にふ化から11月末までの平均成長速度を地点別に比較した。

3. 結果

12月2日にエリで漁獲されたアユのふ化時期はどの漁協でも多くが9月中旬と下旬にふ化したものであった(図1)。9月中旬生まれの平均成長速度は、0.47~0.50 mm/日であり、地点間で有意な差はみられなかった(図2、Steel-Dwass 多重比較 $p>0.05$)。また、9月下旬生まれの平均成長速度は、0.46~0.50 mm/日であり、中主と西浅井の間に有意な差がみられたが(図3、Steel-Dwass 多重比較 $p<0.05$)、他の地点間に差はみられなかった。2019年においては、2018年にみられたような成長の地域差はみられなかった。

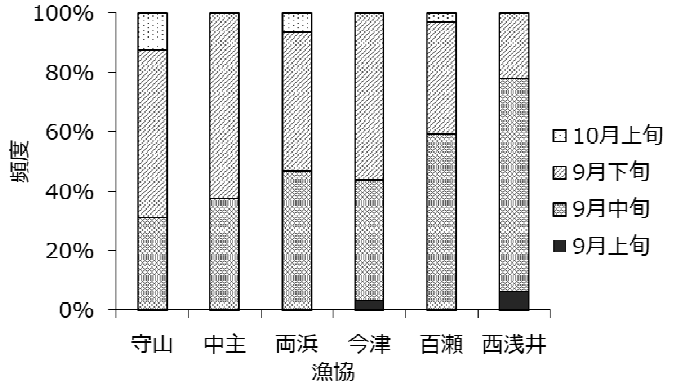


図1. 12月2日エリ漁獲アユのふ化時期割合

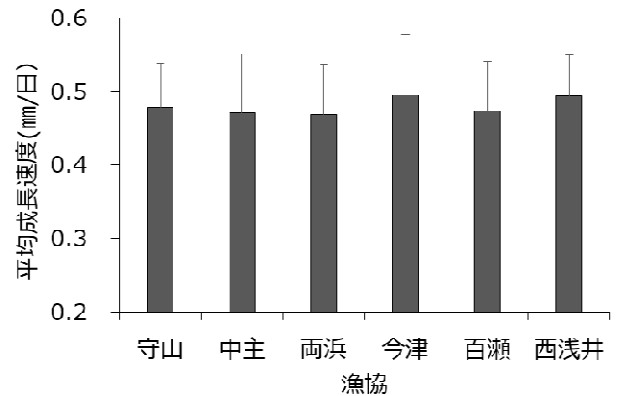


図2. 9月中旬生まれの平均成長速度比較 (Steel-Dwass 多重比較 $p>0.05$)

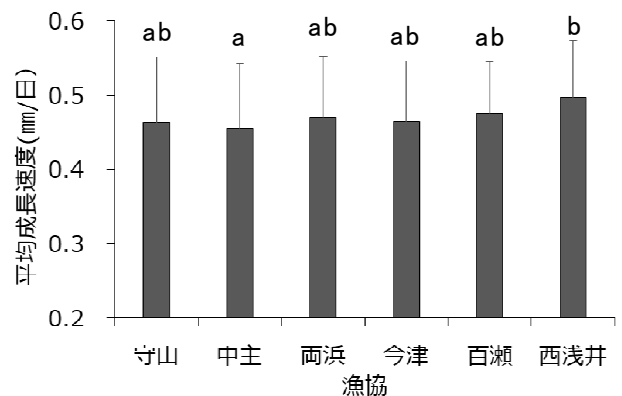


図3. 9月下旬生まれの平均成長速度比較 (Steel-Dwass 多重比較 $p<0.05$)